

第1次豊島区困難女性支援基本計画(素案)に関する委員意見の計画案への反映について

資料1-2

令和6年11月1日
第4回男女共同参画推進会議・
女性活躍推進協議会

(1) ご意見への対応

No	項目	ご意見(要旨)	計画案への反映(方向性)
1	第1章 計画の策定にあたって	○なぜ女性への支援が必要で困難女性支援法が制定されたのか、法制定の背景やこれまでの社会状況、困難な問題を抱える女性が多いのは、女性の個人責任ではなく社会構造の問題があるということを明記する。	ご意見を踏まえ修正を行いました。
2	第2章 困難な問題を抱える女性への支援の現状	○男女別データを示さないと女性の問題が浮き上がってこない。	ご意見を踏まえデータを追加しました。
3		○なぜ法が必要だったのか、分かるデータを加えてほしい。	
4	第3章計画の内容 ★現状と課題	○文章が長く、分析というより、{○○が必要}「○○支援が重要」といった施策や事業内容の羅列となっている。調査を基にした現状認識とその課題をもう少し整理する必要がある。	現状と課題については、都計画も参考に以下のように変更しました。「第2章困難な問題を抱える女性への支援の現状」で各種データや調査結果により現状を示していることから、「第3章計画の内容」には、課題中心の記載を意識するとともに、施策や事業内容に該当するものは各施策に移して整理しました。併せて、現状に掲載したデータと関連の深い内容について、そのデータを課題の根拠として示しました。 また、課題も各施策に対応するよう、まとめて記載するなど、わかりやすさに配慮しました。
5		○現状と課題については、具体的にこういった問題があり、だからこういった対策をとるという書き方をしたほうが分かりやすい。	
6		○現状と課題のところに、現状と課題を踏まえた施策の方向まで一緒に記載しているので、課題に対して目指す方向と、具体的な施策に分けて整理したほうが分かりやすい。	
7	第3章計画の内容 ★施策	○施策自体が施策の方向（体系）ごとにしっかり分けられていない。	ご意見を踏まえ精査し、全体的に修正・加筆しました。 27頁の施策④NO.15については、外国籍、障害者、高齢者、多様な性自認・性的指向に分けて主な取組/事業を記載しました。
8		○施策の方向2 様々な困難を抱える女性への施策の推進 のところで、高齢女性についても記載していくよう修正を加える。 ○女性相談支援員がという専門性のある職員が有期雇用となっていることが支援者側の不安につながる懸念がある。	
9		○27頁施策④複合的課題を抱える女性への支援についてNO.15に外国籍女性に関する主な取組/事業のところだが、外国人は言語や日本の制度がよくわからないという壁もあるので、項目を分けて取組みを記載するのがいい。 ○複合的課題を抱える女性の例を主な取組/事業に具体的に記載する。	
10		○27頁施策④複合的課題を抱える女性への支援について NO.15の内容が多岐にわたるのでひとくくりにするのは難しい。もう少し細かく分けてほしい。	
11		○27頁施策④NO.13 女性相談支援員が中心となって総合的支援を行うために女性相談支援員が活動しやすいようどのような仕掛けを作っていくのかというところがない。 ○資質の向上や正規職員化により異動となり、積み上げてきたノウハウ・経験を活かせなくなるということがないよう専門性の確保ということと職の安定化ということに併せて留意する。 ○例えば障害についてもジェンダーの視点が必要 ○NO.15 高齢者にも焦点を当てる。 ○施策の内容や主な取組/事業に、早期からの気づきや相談できるという認識づくりのため教育の役割が極めて大事。例えば中学校での取組みなどに工夫する。	
12		○地域との協働を担当する所管の主な取組/事業を追加する。	
13		○最も困難を抱えている女性を優先して支援するための取組みを例えば、就労支援や住宅支援など盛り込む。 ○具体的な施策、具体的な取組みを盛り込む。	
14		○22頁施策②NO.6 高齢者への居住支援も入る。連帯保証人がいないときに保証会社を利用する場合、緊急連絡先を求められるが、こういった点をフォローできるといい。 ○同じくNO.6 空き家活用とあるが具体的に示す。	

No	項目	ご意見(要旨)	計画案への反映(方向性)
15	第4章 計画の推進 ★評価指標	○34頁の評価指標について目標値を矢印図で示しているが、区の行政評価等との整合性の観点から数値で設定する。 ○施策1から7まで設定しているが、内容が重複しているようなので精査が必要	評価指標について精査し、数値化できる目標は数値で、数値化が難しい場合は文章表記としました。
16		○矢印表示には違和感があるので、文章で書いてもらいたい。	
17		○数値目標を設定する際、例えば相談件数を多くするのが目標として適切なのか、相談するような問題がなくなるのがいいわけだがその場合目標としてはむしろ少なくするのがいいのではないかとといったように慎重に深く考える必要がある。 ○安易な数値化や短期的目標の設定には危険もあると感じる。	
18		○最近の政策評価の流れではアウトカムの評価が非常に難しい政策に対する数値化について慎重な意見もある。数値化がすべてとならないように留意することが必要	
19		○どこに目を向けてどこに働きかけるのか分かる指標設定とする。	
20		○② 居住支援の充実 数値化されていないので具体的な内容が分かりづらいため、アップデートできるといい。	

※発言順に記載しています。